



高橋 光朗さん(55)
高橋 浩子さん(55)
＝江刺区米里字笹ノ田＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

中山間地域でのトマトづくりに取り組む高橋夫妻。高校の同級生だったという二人は、ことしで結婚31年目です。大学を卒業してすぐに親元に就農した光朗さん。経営の核となる品目を求め、いくつか手がけた中で手応えを感じたのが、ハウストマトでした。しかし、トマト農家が周囲にいないため技術習得は苦労したそうで「愛宕まで習いに行ったが、こちらとは氣候が

違う。試行錯誤でした」と振り返ります。その後、順調に規模は拡大。今ではJA江刺のトマト専門部長を務めるなど指導する立場となった光朗さんは、若手育成のため区内を飛び回っています。そんな忙しい生活の中で、二人は去年からオープンガーデンを始めました。浩子さんがデザインした庭は「山の斜面を活かした、気持ちのいい自然な庭」。公開には光朗さんの後押しがあったそうで「一人ではできないことも二人ならできる」と感謝します。ことしの公開は終了しましたが、来年も取り組む予定です。オープンガーデンに参加して以来、人の行き来に興味を持ったという二人。「山間部から平地という人の流れはあるが、平地から山間部というのは少ない。市内はいろんな地域があることを平地の人にも知ってもらいたい」とこれからの夢を語ってくれました。

36



千葉 瑞希さん
(胆沢区・胆沢第一小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「弁護士」

——学校での役割は？

ボランティア委員会の委員長です。委員会では、東日本大震災で被災した大船渡市の越喜来小学校のために募金集めなどをしました。

——小学校生活の思い出は？

修学旅行で行った東北歴史博物館で、火起こしを体験したことです。なかなか火が起きず、みんな顔を真っ赤にしてやったのが楽しかったです。

——好きなスポーツは？

水泳です。スイミングスクールに通っています。学校では水

泳記録会に向けての練習のリーダーをしています。得意な泳ぎは背泳ぎです。

——将来の夢を教えてください。

弁護士です。ドキュメンタリー番組で弁護士の仕事を見て、カッコいいと思いました。人から信頼されるような弁護士になりたいです。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

勉強です。全ての教科を頑張るようにしています。そして、自分の中の正義感を大事にしていきたいと思っています。

中高生の部活動や
委員会活動を紹介

36

青春讃歌

水沢工業高等学校 吹奏楽部

◎部員数 11人
◎顧問 多田 智章 先生
熊谷 玲子 先生
◎部長 高橋 蘭 さん(3年)



初心者大歓迎！ おもいきり楽しもう！

自分たちのペースで音楽に向き合っている水沢工業高校吹奏楽部の11人。個性豊かな部員たちは、「調和」を胸に日々の練習に励んでいます。

工業高校ということもあり、吹奏楽部を意識して入学する人は少なく、吹奏楽を高校から始めたという部員が多いという同部。部長の高橋蘭さんは「高校からでも、音楽に興味があるので楽器を始めようという部員ばかり。だからみんな仲がいいです」と部の雰囲気誇ります。仲の良さは演奏曲選びにも表れていて、決定するのは3年生ですが、下級生のちょっとした希望も取り入れられているそうで「こういうところは少人数のいいところですね」と笑う高橋部長です。顧問の先生は「少人数なので選曲は苦労しますが、自分たちの個性を生かし、さ

まざまなジャンルに挑戦してほしい」と活動を後押しします。

同部の一番の目標は、毎年、夏に開催される全日本吹奏楽コンクールですが、野球応援などの学校行事、老人ホームでのボランティア演奏などにも積極的に取り組んでいます。10月の水工祭ではオープニング演奏やステージでの演奏を行う予定で、今が練習の真っ盛り。「おもいきり楽しんで演奏する」と意気込む部員たちは、自分たちの演奏や仲の良さを見て、新入部員が増えてほしいと願っています。



野球応援の一コマ



おうしゅう おしゅう 針盤

先月は、暑さを吹き飛ばす奥州の夏まつりが、各区で開催され、家族連れや浴衣姿の学生などで賑わいました。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会があと1カ月に迫ってまいりました。先月には、水沢競馬場で炬火採火式を、Zホールで決起集会を行い、本番に向けての気運が高まっています。市では、国体競技の全てが分かる「観戦ガイドブック」を全世帯に配布しました。ガイドブックには前沢牛など豪華景品が当たるスタンプリーも付いています。全競技入場無料ですので、ぜひ会場にお越しいただき、選手たちに熱い声援を送っていただきたいと思います。全市民総力を挙げて国体を盛り上げ、成功させてまいりましょう！

早稲田大学大学院の学生が

フィールドワークの一環で本市を訪れました。ことしで7年目で、市内外で現地調査を行い、研究の成果を政策提言として発表しました。今回のテーマは「奥州湖を中心とした観光ルートの構築について」です。「奥州式 天・水・緑への冒険」と題して「道」「食」「泊」の三つをキーワードに、外国人旅行者を狙った奥州式旅プランなど、柔軟な発想からの観光振興策をご提言いただきました。今後の奥州湖活用に、大いに参考とさせていただきます。

このたび、江刺中核工業団地・江刺フロンティアパークに工場を新設する(株)金剛製作所と市が、企業立地調印式を行いました。同社の東北進出は初めてで、全国で9カ所目。約3億円を投じ来年12月に操業を開始します。工場では自動車部品や生産設備を製造し、従業員は当初10人、将来的には20人体制を予定しています。同社の更なる発展と雇用拡大、周辺地域の産業振興を大いに期待します。

奥州市長 小沢昌記